



## 取扱説明書

### MP3 PLAYER/FM TUNER Model iFP-300 Series

iRiver



*Firmware Upgradable*

お買い上げありがとうございます。  
ご使用前に本取扱説明書をよくお読みください。

[www.iRiver.co.jp](http://www.iRiver.co.jp)

本パッケージに同梱されていますインストールCDに含まれていますソフトウェアMoodlogicは英語環境でのみ動作いたします。つきましては、日本におけるMoodlogicのサポートは、対象外とさせていただきますのでご了承ください。



本機はFCC規則第15部に準拠しています。動作は以下の条件の対象となります。(1)本機は(他の通信設備に対して)電波障害となりうるような操作を行ってはならない。かつ(2)本機は(本機にとって)望ましくない動作を生じえる、他の通信設備からの干渉を受容しなければなりません。

注意：この機器は試験の結果FCC規則第15部に従って、クラスBデジタル機器の制限に準拠すると裁定されました。この制限は家庭設置における有害な干渉に対し十分な保護を提供するために設けられたものです。この機器は無線周波数エネルギーを発生し利用し放出しますが、指示通りに設置されかつ使用されなかった場合には無線通信に有害な干渉を生ずることがあります。しかし、特定の設置で干渉を発生しない保証はありません。この機器が万一ラジオやテレビの受信に有害な干渉を生じた場合、利用者は本機をON/OFFすることによりこれを識別することができ、以下の手段の1つまたは複数により干渉を修正することを推奨します。

- 受信アンテナを再調整するまたは設置場所を変更する。
- 本機と受信機の間隔を増進する。
- 受信機が接続されている端子と異なる回路の端子に本機を接続する。
- 販売店または実績あるラジオ/テレビ技能者に相談する。

注意：本機の許可されない改造から生じるラジオやテレビへの干渉について製造業者は責任がありません。このような改造は本機を運用するユーザーの権利を無効にします。

URL : [www.iRiver.co.jp](http://www.iRiver.co.jp)

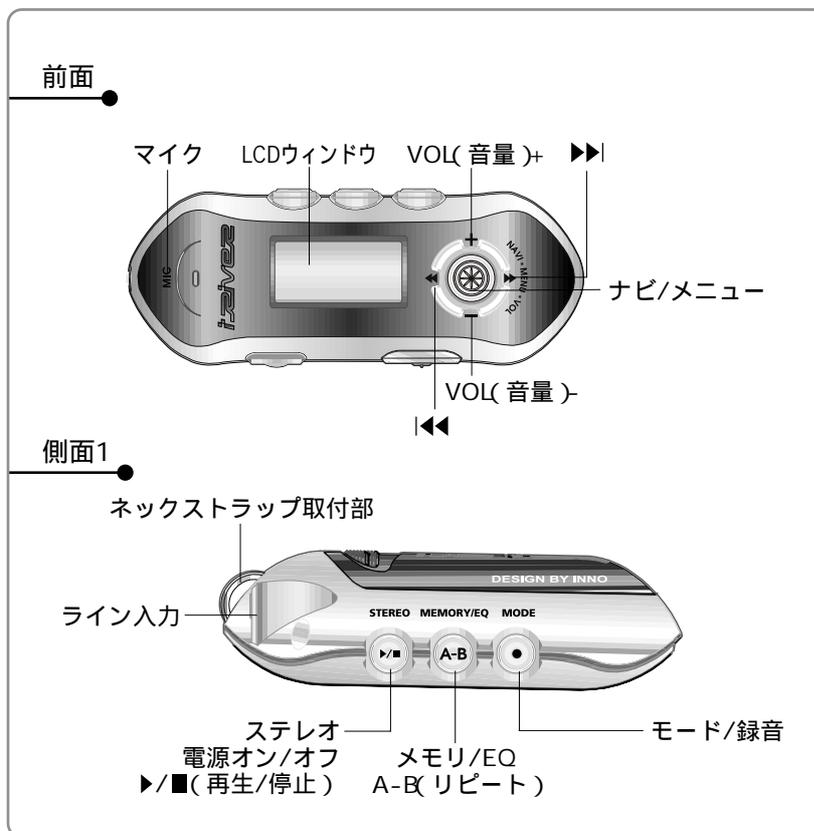
- ・弊社や各製品について、またはお客様・技術サポートについて最新情報をご覧ください。
- ・最新ファームウェアのダウンロードによりプレーヤを更新します。ファームウェア更新により新しいコーデックへのサポートが可能です。
- ・サポートコーナーではお客さまから頻繁にいただくご質問に対する解答が「よくある質問」に掲載されています。
- ・弊社製品に関するアップデートや最新情報をお届けするために、また、お客さまが技術サポートを受けるために、弊社ホームページにてユーザ登録をお済ませ下さい。登録いただかない場合は、技術サポートの対象外となることがございますのでご了承下さい。

本書の内容につきましては万全を期しておりますが、万一ご不明な点や誤記、記載漏れなどお気づきの点がございましたら、弊社までご連絡頂きますようお願い致します。iRiverは大韓民国その他の国におけるiRiver社の登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。Microsoft Windows MediaとWindowsロゴは合衆国その他の国におけるMicrosoft社の商標です。その他このマニュアルに記載されているすべてのブランドおよび製品名は各国や各組織の商標または登録商標です。

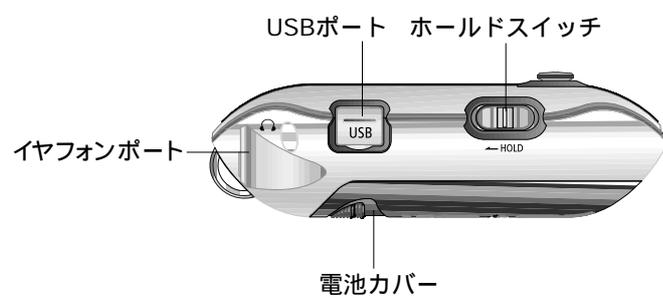
©1999-2003 iRiver社 iRiver Limited All Rights Reserved

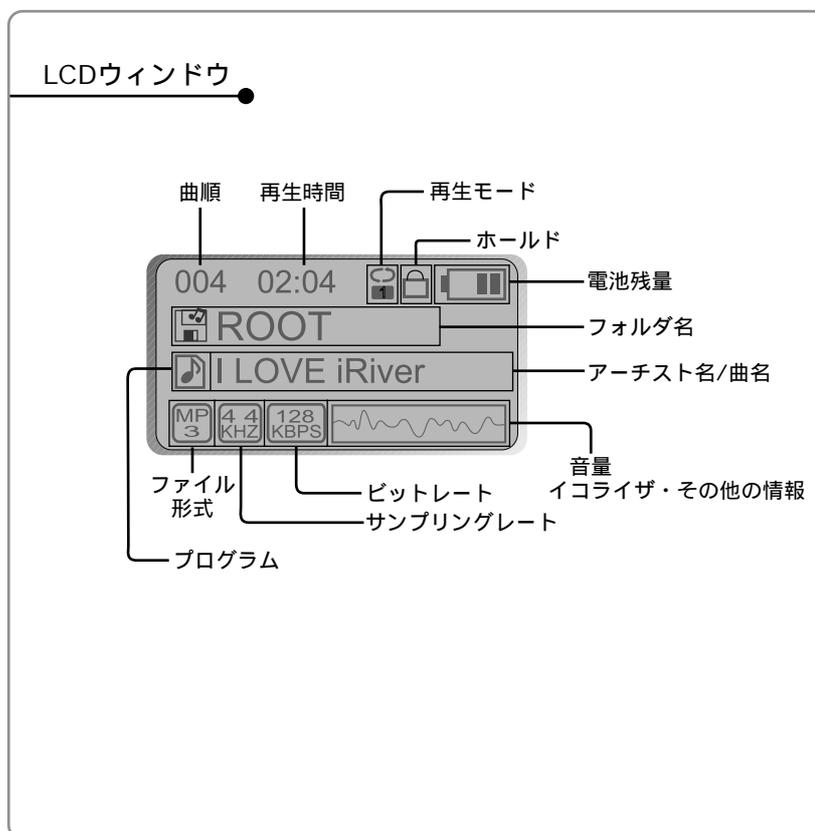
- ・独自のデザイン
- ・マルチコーデックプレーヤ  
MP3、WMA、ASFフォーマットをサポート
- ・弊社ホームページにて最新のファームウェアを提供
- ・多言語サポート  
主要39カ国の言語表時が可能。
- ・FM機能  
オートプリセットや周波数メモリ機能により、お気に入りのFM局の設定が可能。
- ・6つのEQ設定  
ノーマル、ロック、ジャズ、クラシック、Uバス、メタル
- ・XtremeEQ  
5つの周波数ゾーンを調整してお好みのEQがセットが可能。  
各周波数ゾーンの帯域幅は-12dBから+12dBまで3dBステップで設定できます。
- ・GUI（グラフィック・ユーザー・インターフェース）メニューシステム
- ・使いやすいナビゲーション  
簡単な操作で曲を探ることができます。
- ・最大8階層のサブフォルダでトータルのフォルダ数500、ファイル数1500を同時サポート
- ・ユーザー独自の再生リスト作成が可能
- ・MP3ダイレクトエンコーディングをサポート  
サンプリング周波数11.025kHz～44.1kHz、ビットレート8kbps～320kbps
- ・FM放送、音声、他の機器のライン入力を録音  
音声録音レベルはAGC機能で自動制御
- ・使いやすいネックストラップ付属

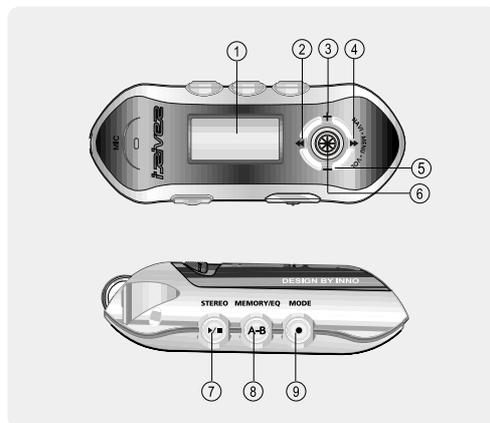
iRiver Web サイトのご紹介	2
本製品の特徴	3
目次	4
<b>1. 各部の名称</b>	
前面、側面1	5
側面2	6
LCDウィンドウ	7
<b>2. 基本操作</b>	
基本操作	8 ~ 11
ソフトウェアのインストール	12 ~ 16
ソフトウェアの基本操作	17
プレーヤとファイル転送	18 ~ 23
フォルダとファイルの操作	24 ~ 27
その他の機能	28 ~ 31
Macへのインストール	32 ~ 33
iRiver Music ManagerのMac上での使用方法	34 ~ 37
音楽を聴く	38 ~ 39
FMチューナー操作	40 ~ 43
FMラジオを録音する	44
音声を録音する	45 ~ 46
外部オーディオ機器から録音する	47 ~ 50
<b>3. 便利な機能</b>	
ナビゲーション	51 ~ 52
再生モード	53
プログラムモード	54 ~ 56
EQモード	57
メニュー	58 ~ 68
<b>4. その他の情報</b>	
電源	69
トラブルシューティング	70
注意	71
付属品	72
仕様	73
最小限必要動作環境	74
アフターサービス	75



側面2





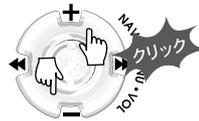


- |                                       |                                  |
|---------------------------------------|----------------------------------|
| 1. LCDウィンドウ                           | 8. EQモード、A-Bリピート、FM<br>メモリ局の自動選択 |
| 2. MP3では前の曲を選ぶ、もしくは<br>はFMの選局         | EQ : NOMAL ROCK JAZZ             |
| 3. ボリュームを上げる                          | CLASSIC U BASS                   |
| 4. MP3では次の曲を選ぶ、もしくは<br>はFM選局          | METAL XtrmEQ                     |
| 5. ボリュームを下げる                          | 9. 再生モード、録音スタートおよ<br>び停止         |
| 6. ナビ/メニュー機能の選択                       |                                  |
| 7. MP3の再生と停止、もしくはFM<br>モード選択または電源オフ終了 |                                  |



ボリューム調整

「+」ボタンを押してボリュームを上げ、  
「-」ボタンを押してボリュームを下げます。



FMを聞くときのFMモード (STEREO/MONO) 選択



ナビゲーション



「ナビ/メニュー」ボタンを押し、「+」ボタンか「-」ボタンを押して聞きたい曲を探します。曲を選ぶには、「ナビ/メニュー」ボタン、「▶▶」ボタン、「▶/■」ボタンを押します

上の階層のフォルダに移るには「◀◀」スイッチを押します。

上の階層にフォルダがないときはナビゲーションが止まります。

### メニュー

「ナビ/メニュー」ボタンを長く押すとメニューに入ります。



- (1)メニューからメニューへの移動：「|<<<」または「>>>|」を押します。
- (2)終了：「-」ボタンを押すか、「ナビ/メニュー」ボタンを押し続けます。
- (3)機能の選択：「ナビ/メニュー」ボタンを押します。

### モード



MP3ファイル再生中「モード/録音」ボタンを押すと「リピート」や「シャッフル」などの選択モードにかわります。

「モード/録音」ボタンを押し続けます。

MP3/FM/音声/ライン入力による録音が選択できます。

(MP3を選択すると自動的に再生モードに入ります)



### プレーヤ内のファイルを消去する

1 再生を停止します。

STEREO



2 「ナビ/メニュー」ボタンを押します。



3 「ボリューム+」ボタンか「ボリューム-」ボタンを使って消去するファイルを選びます。



4 「モード/録音」ボタンを押します。  
[FILE DELETE ARE YOU SURE?]というメッセージがLCDウィンドウに表示されます。「<<<」または「>>>」によって[YES]を選び消去します。次に「ナビ/メニュー」ボタンを押します。



### プレーヤ内のフォルダを消去する

1 再生を停止します。

STEREO



2 「ナビ/メニュー」ボタンを押します。



3 消去するフォルダを選びます。



4 「モード/録音」ボタンを押します。  
[FOLDER DELETE ARE YOU SURE?]とLCDウィンドウに表示されます。「<<<」または「>>>」を使って[YES]を選び消去します。次に「ナビ/メニュー」ボタンを押します。



**注意** 消去できるのは空のフォルダのみです。フォルダを消去するには最初にフォルダの中のファイルを消去しなければなりません。

- お持ちのPCのCD-ROMドライブにインストールCDを挿入します。CDを挿入するとPCに以下の画面が表示されます。



- インストールが自動的に開始しないときは、インストールCD内の [ setup.exe ] ファイルを実行します。インストールプログラムが開始します。
- インストールCDには以下の内容が含まれています。
  - デバイスドライバ
  - iRiver Music Manager
- 本製品はMP3ファイルや様々な形式のファイルを保存できます。iRiver Music Managerプログラムを使ってPCに音楽形式 (MP3、WMA、ASF) 以外のファイルを転送できます。
- [www.iRiver.co.jp](http://www.iRiver.co.jp)から最新のドライバとiRiver Music Managerのアップデータをダウンロードできます。

Microsoft Windows 2000/XPのOSを使用している方はアドミニストレータレベルで (管理者レベル) ログインし、iRiver Music Managerをインストールしてください。

#### 最小限必要作動環境

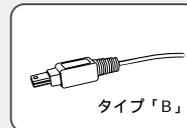
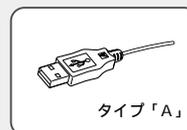
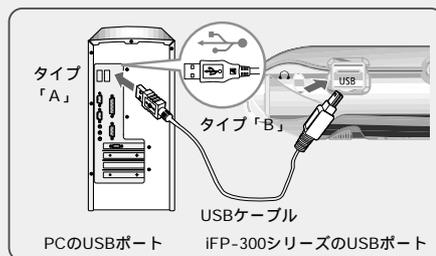
Pentium 133MHz以上  
USBポート  
Windows 98SE/ME/2000/XP

CD-ROMドライブ  
ハードディスクの空きスペース10MB

## 「新しいハードウェア」のインストール

初回の接続は必ずP.14~P.15のソフトウェアのインストール後に行ってください。

1 付属のUSBケーブルをコンピュータのUSBポートに接続します。



2 プレーヤの電源を入れ、USBポートの保護カバーをはずし、USBケーブルを接続します。



3 [USB CONNECTED]というメッセージがプレーヤのLCDウィンドウに表示されます。



**注意** エラーを避けるため必ず再生を停止してからUSBケーブルを接続してください。

1 インストールする言語を選択して  
[次へ]をクリックします。



2 [次へ]をクリックしてiRiver Music  
Managerのインストールを開始します。



3 インストールするフォルダを選択し、  
[次へ]をクリックします。



[インストール]をクリックして  
インストールを開始します。



インストールが続行されます。



[終了]をクリックします。  
「新しいハードウェア」の  
インストールが完了しました。



## Windows XPでのインストール



- ▶ 付属のCD-ROMからManagerソフトをインストール後、電源の入ったプレーヤとPCをUSBケーブルで接続すると、左図のメッセージが表示されます。「次へ」をクリックしてドライバのインストールを開始してください。



- ▶ インストール中、左図の警告文が表示されたら、「続行」ボタンをクリックして、インストールを続けてください。（付属のCD-ROMはiRiverの公式なインストールプログラムです。安全なインストールが確認されています。）



- ▶ 「完了」ボタンをクリックして、インストールを完了してください。

Windows98SE、Meおよび2000ではこの設定は必要ありません。

## 1. 基本操作

1 デスクトップのiRiver Music Managerアイコンをダブルクリックし、プログラムを起動します。



2 インストールされたiRiver Music Managerのバージョンが表示されます。



▼ iRiver Music Managerを最初に起動したときの画面



## 2. プレーヤとファイル転送

### 1) PCからのダウンロード

プレーヤの電源を入れPCとプレーヤにUSBケーブルを接続してからプログラムを起動します。

1 PC内のフォルダやファイルを選択します。



2 プレーヤ内の転送先フォルダを選択します。



3 [ダウンロード]アイコンをクリックするか[転送]メニューで[ダウンロード]を選択し、選択したファイルをプレーヤに転送します。



4 ダウンロードが進行します。



5 ダウンロードが完了します。



**注意**

- \* 半角英数127文字（日本語63文字）以上の名前のファイルは転送されません。
- \* パス名ファイル名を含め半角英数511文字以上のファイルは転送されません。
- \* ルートフォルダはファイルとフォルダの総数が1024に限定されています。  
サブフォルダにはファイル数の制約はありません。

2) PCへのアップロード  
 プレーヤに電源を入れプレーヤとPCにUSBケーブルを接続してからプログラムを起動します。

1 プレーヤ内の保存したいフォルダやファイルを選択します。



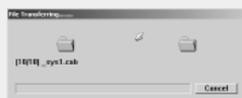
2 PC内の転送先フォルダを選択します。



3 [アップロード]アイコンをクリックするか転送メニューで[アップロード]を選択し、選択したファイルをプレーヤからPCに転送します。



## 4 アップロードが進行します。



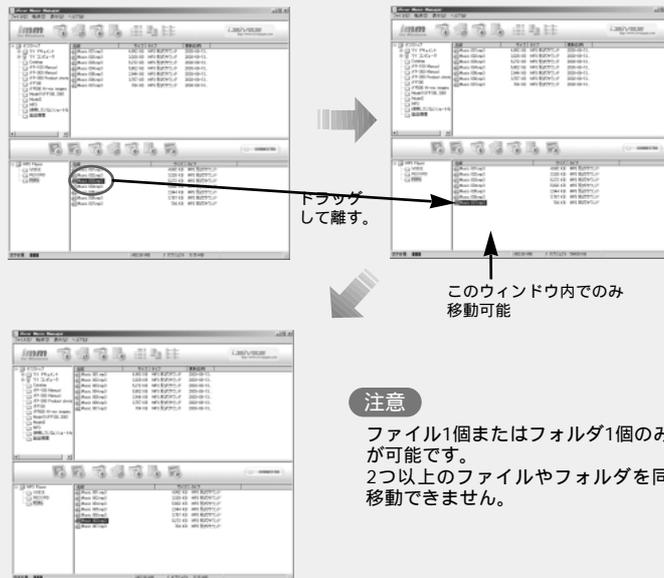
## 5 アップロードが完了します。

**注意**

- 録音したFM放送、ライン入力、音声ファイル、任意のデータファイルはPCにアップロードできません。音楽形式のファイル（MP3、WMA、ASF）はプレーヤからPCに転送できません。
- 録音したFM放送、ライン入力、音声ファイルをアップロードする際は、必ずRECファイルからMP3ファイルへの変換作業を行ってください。

3) プレーヤのフォルダやファイルの位置を変更する。

1 クリックとドラッグでフォルダやファイルを希望の階層に移動します。

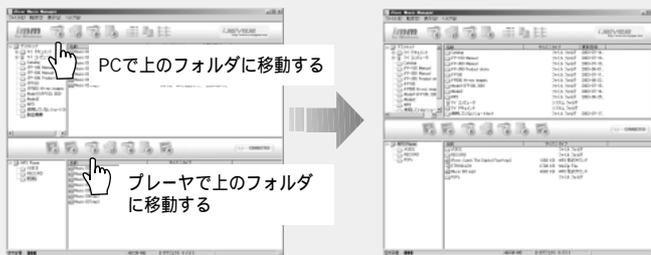


**注意**

ファイル1個またはフォルダ1個のみ移動が可能です。  
2つ以上のファイルやフォルダを同時に移動できません。

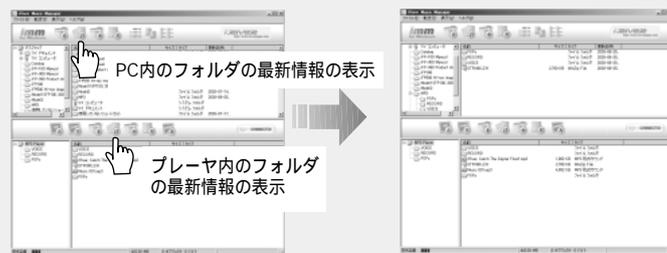
## 4) 上のフォルダに移動する (PCおよびプレーヤ)

1 iRiver Music Managerのメニューバーの [ 上のフォルダ ] 移動のアイコンをクリックします。



## 5) 最新の情報 (PCおよびプレーヤ) にアップデートします。

1 [ 更新 ] アイコンをクリックしてPCやプレーヤの内容を更新します。



### 3. ファイル管理

#### 1) プレーヤに新規フォルダを作成する

1 [新規のフォルダ]アイコンをクリックするか、ファイルメニュー内の[新規フォルダ]を選択して新規のフォルダを作成します。



2 新規フォルダが作成されます。



3 新規フォルダの名前を入力します。



2) PCに新規フォルダを作成する

1 iRiver Music Managerのメニューバーの[新規フォルダ]のアイコンをクリックします。



2 新規フォルダが作成されます。



3 新規フォルダの名前を入力します。



3) プレーヤからフォルダやファイル削除する。

1 Managerプログラムを起動してから、  
削除するファイルやフォルダを選択します。



2 [削除] アイコンかファイルメニュー  
[削除] をクリックします。



3 [はい] をクリックします。



4 ファイルが削除されます。



4) PC内のフォルダやファイルを削除する

1 Managerプログラムを起動してから、削除するファイルやフォルダを選択します。



2 [削除] アイコンをクリックします。



3 [はい] をクリックします。



**注意**

この操作によりハードディスクからファイルが完全に削除されます。操作には十分ご注意ください。

4 ファイルが削除されます。



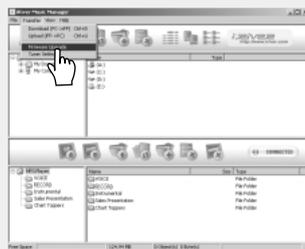
#### 4. 追加の機能

##### 1) ファームウェアの更新

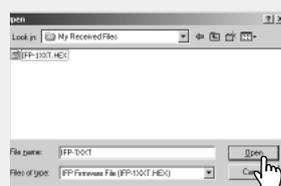
- 1 iRiverホームページ( WWW.IRiver.co.jp )から最新のファームウェアをダウンロードします。  
ダウンロードしたファイルを解凍します。  
[ \*.EXE ] ファイルを実行すると [ IFP-3XXT.HEX ] ファイルが作成されます。



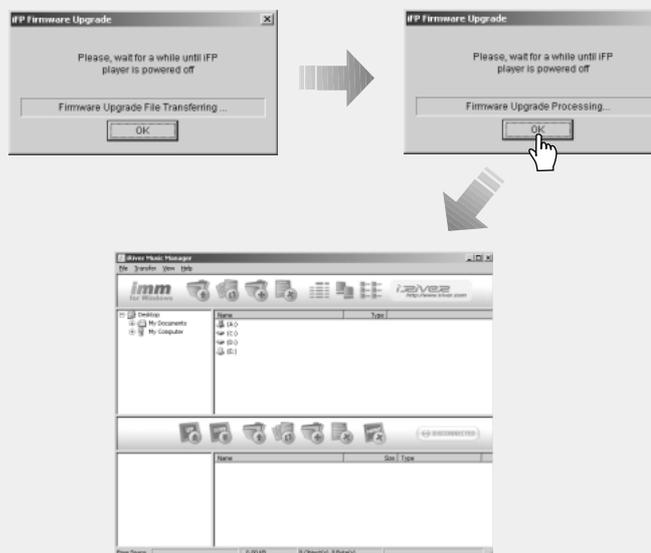
- 2 [転送]メニューから[ ファームウェアのアップグレード ]をクリックします。



- 3 [ IFP-3XXT.HEX ] がファイルをクリックし、次に [ 開く ] をクリックします。



4 ファームウェア更新の進行中、以下のウィンドウが表示されます。  
プレーヤの電源がオフになったら [OK] をクリックします。



2) フォーマット

フォーマットするとプレーヤメモリの中のファイルはすべて消去されます。  
操作には十分ご注意ください。

1 [フォーマット]アイコンをクリックするか[ファイル]メニューの[フォーマット]を選択しフォーマットします。



2 [スタート]をクリックします。



3 以下の警告が表示されます。  
[はい]をクリックします。



4 フォーマットが完了します。



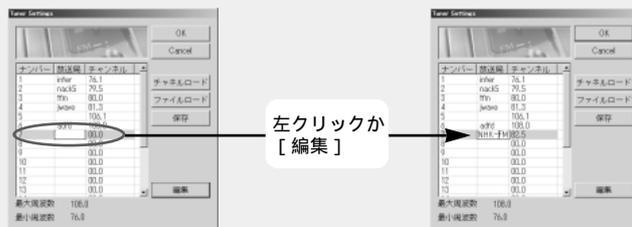
### 3) ラジオ局の変更

iRiver Music ManagerでFMラジオ局の選局設定の変更ができます。

1 [転送]メニューから[チューナー設定]を選択してラジオのチャンネルを変更します。



2 FM局のリストを編集できます。



**注意** 局名は半角英数字6文字を超えることはできません。

## 1. Macへのインストール

### 1) Mac OS9.2

1 インストールCDのMAC-OSフォルダにある「MAC OS OS 9 IRIVER MUSIC MANAGER FOR MAC OS-9.SIT」ファイルをデスクトップにコピーします。



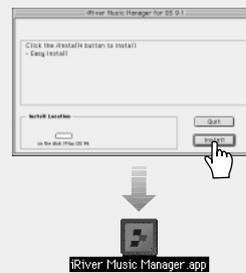
2 「iRiver Music Manager for OS 9.sit」をダブルクリックして、iRiver Music Manager用のVISEインストール・ファイルを解凍します。



3 「VISE」アイコンをダブルクリックしてインストールを開始します。



4 「Install」をクリックします。



## 1) Mac OS X

1 インストールCDのMAC-OSフォルダー内の「MAC OS OS X IRIVER MUSIC MANAGER FOR MAC OS X.DMG」をダブルクリックします。  
「iRiver Music Manager」と呼ばれる暫定「ドライブ」アイコンがDMGファイルによりインストールされます。



2 iRiver Music Managerのドライブを開いてiRiver Music Managerのアイコンをドックまたはデスクトップに移動します。



3 これでiRiver Music Managerのインストールが完了しました。



## 《最小限必要動作環境 (MAC)》

- Mac OS 9.2.2以上
- Mac OS X 10.1.4以上
- CarbonLib 1.6以上

\* CarbonLibの更新方法：

- OS X : アップルメニュー  
システム環境設定  
システム ソフトウェアアップデート
- OS 9 : アップルメニュー  
コントロールパネル  
ソフトウェアアップデート

1) Macとの接続

プレーヤをMacに接続してからiRiver Music Managerを開きます。



2) Mac上で新規フォルダーの作成

iRiver Music Managerの「新規フォルダ」アイコンをクリックします。



3) リフレッシュ (プレーヤ)

プレーヤの内容を表示するには「更新」アイコンをクリックします。



4) フォルダーまたはファイルの削除

削除するファイルまたはフォルダーを選択してから「削除」アイコンをクリックして削除します。



5) フォーマット

フォーマットを使用するとプレーヤのメモリ上の全てのファイルが削除されます。

フォーマットを行うには「フォーマット」アイコンをクリックします。



6) Macからのダウンロード

ダウンロードしたいファイルまたはフォルダを選択してからプレーヤ上のダウンロードフォルダへドラッグ・アンド・ドロップで移動します。



ドラッグ & ドロップ

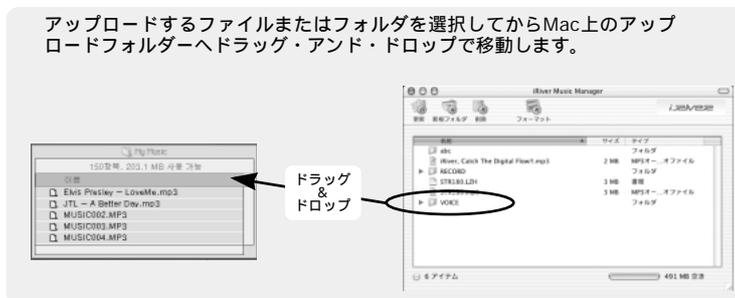


注意

- \* 半角英数127文字（日本語63文字）以上の名前のファイルは転送されません。
- \* パス名ファイル名を含め半角英数511文字以上のファイルは転送されません。
- \* ルートフォルダは合計で1024ファイル（iFP-340：256）までの制限があります。サブフォルダにはファイル数の制約はありません。

## 7) Macへのアップロード

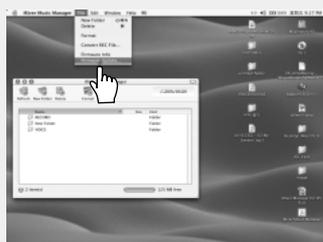
アップロードするファイルまたはフォルダを選択してからMac上のアップロードフォルダへドラッグ・アンド・ドロップで移動します。

**注意**

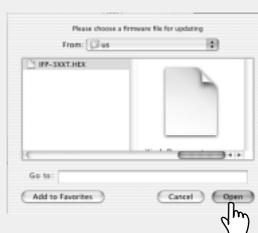
- 現存する著作権法によってプレーヤからMacへの音楽ファイル(MP3,WMA,ASF)のアップロードはできません。
- データファイルの他、FMから録音したファイル、外部ラインからの録音及び音声ファイルのアップロードは可能です。

### 8) ファームウェアの更新

1 弊社ホームページから最新ファームウェアをダウンロードします。メニュー上の「ファイル」→「ファームウェアアップデート」をクリックします。



2 更新するファイルを選択してから「開く」をクリックします。



3 更新後はプレーヤが自動的にオフになります。「閉じる」をクリックします。



音楽を聴く

1 以下のようにイヤフォンを接続します。



2 「ホールド」スイッチをオフにします。

OFF



HOLD

3 「再生/停止」ボタンを押してプレーヤをオンにします。  
もう一度押すと再生が開始されます。

STEREO



4 曲を選択する

◀◀:前の曲を選択します

▶▶:次の曲を選択します



5 ボリュームの調整  
「+」:ボリュームを上げる  
「-」:ボリュームを下げる



注意

- 「ホールド」スイッチがオンのときプレーヤのボタンは機能しません。
- MP3の停止状態にある時や音声録音のスタンバイの状態にある時、プレーヤはメニューの「POWER OFF」設定に従って自動的に電源が切れます。(64ページを参照してください)



プレーヤの電源を入れます。



再生します



機能を変更します (MP3 FM 音声録音 ライン入力)



停止します



次の曲に進めます



前の曲に戻ります



次のフォルダを演奏します



(64ページ・ファストスキップ参照)

前のフォルダを演奏します



(64ページ・ファストスキップ参照)

早送りします



巻き戻しします



プレーヤ電源を切ります



MP3再生中「モード/録音」ボタンを押し続けます。



LCDウィンドウのグラフィック表示機能選択



「|<<<」「>>>」ボタンを押してFMラジオを選択します。  
 「ナビ/メニュー」ボタンを押して確定します。



「ステレオ/再生/停止」ボタンを押してステレオ/モノラルを選択します。



## お気に入りのラジオ局を選択する (FM76.0~108MHz)

- ① 周波数を変更するには「|◀◀」や「▶▶|」スイッチを左や右に押します。  
(例87.5→87.6)



- ② オートスキャン機能：自動的に局を選択するには、「ナビ/メニュー」ボタンを押し、「|◀◀」や「▶▶|」スイッチを左や右に押して局を探します。



- ③ プリセットモード：メモリに保存した局を選択するには、「ナビ/メニュー」ボタンを押し、「|◀◀」や「▶▶|」スイッチを左や右に押して局を探します。



## メモリ機能（チャンネルの保存）

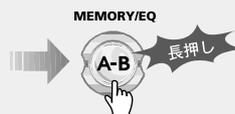
- 1 「|◀◀」や「▶▶」スイッチを左や右に押して周波数を選択します。



- 3 最大20局まで保存できます。



- 4 オートメモリ機能  
周波数を自動的に選択して順番に保存します。  
(プレーヤがプリセットモードでないときに動作します)



**注意** 電波の弱い地域ではオートメモリが機能しないことがあります。

## メモリ削除機能（保存したチャンネルの削除）

- 1 プリセットモードで削除する局を選択します。
- 2 「メモリ」ボタンを長押しします。



- チャンネル削除が完了すると次の局が表示されます。  
次のチャンネルも削除したいときは「メモリ」ボタンを押します。

## 注意

- ・受信する地域により、FM放送の受信チャンネルが異なります。
- ・プリセットモードでは、オートスキャンとオートメモリの機能は使用できません。
- ・プレーヤにチャンネル設定がないときは、プリセットモードで [ EMPTY ] の表示がされた後に消えます。

- 「再生/停止」ボタンを押してプレーヤの電源を切ります。



## FMを録音する

FM受信中に



「モード/録音」ボタンを押します。



## FM録音を停止する

もう一度



「モード/録音」ボタンを押して録音を停止します。

録音したファイルが[TUNER000.REC]として保存されます。  
[RECORD]フォルダに保存されています。

## 録音ファイルを再生する

MP3モードに変更してから、[RECORD]フォルダから[TUNER]ファイルを選択し、「再生/停止」ボタンを押します。

## FM録音を一時停止する

「▶/■」ボタンを押して録音を一時停止します。もう一度「▶/■」ボタンを押して録音を再開します。

**注意** 録音中はボリュームを操作できません。

音声を録音する

1 「モード/録音」ボタンを長押しします。



2 「◀◀」や「▶▶」のスイッチを押し「VOICE」を選択します。



3 「ナビ/メニュー」ボタン（または「再生/停止」）を押して「音声録音モード」に入ります。



4 「モード/録音」ボタンを押すと音声録音が始まります。



### 録音の停止

1 「モード/録音」ボタンを押します。



### 録音ファイルを再生する

「再生/停止」ボタンを押します。



### 音声録音を一時停止する

録音中に ▶/■ ボタンを押します。  
もう一度 ▶/■ ボタンを押して録音を再開します。

#### 注意

録音した音声ファイルは[VOICE]フォルダに[VOICE000.REC]として保存されます。

LCDに[00:00:00]の表示が出るときはプレーヤのメモリが一杯です。ファイルやフォルダを削除して空きスペースを作って録音してください。(11、26ページを参照してください)

録音の歪を避けるためプレーヤを音源に近づけすぎないでください。

## 外部オーディオ機器から録音する

- 1 外部機器の「ライン出力」ジャックをプレーヤの「LINE IN」ジャックにケーブル接続します。



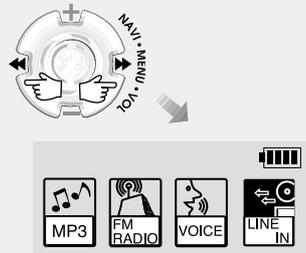
- 2 メニューで[ LINE IN RECORDING MODE ]モードを設定します。(詳細は66ページを参照してください)



- 3 「モード/録音」ボタンを長押しします。



4 「**◀◀**」や「**▶▶**」のスイッチを押してLINE INを選択します。



5 「ナビ/メニュー」ボタン（または「再生/停止」）を押してライン入力録音モードに入ります。（録音待機モード）



6 「モード/録音」ボタンを押すと録音が始まります。



## 録音の停止

- 1 「モード/録音」ボタンを押します。



**注意** 録音ファイルは順番に[AUDIO000.REC]、[AUDIO001.REC]として保存されず、[RECORD]フォルダに保存されます。

## 録音ファイルの再生

### <方法1>

「再生/停止」ボタンを押します。



## 録音ファイルの再生

<方法2>

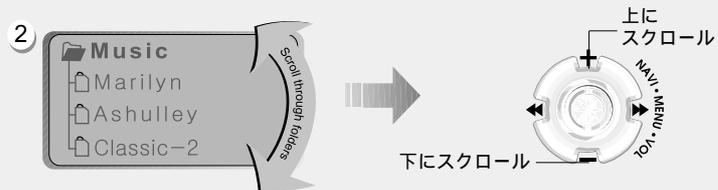
- 1 「ナビ/メニュー」ボタンを押してから、「ボリューム+」ボタンや「ボリューム-」ボタンを使って録音ファイルを選択します。



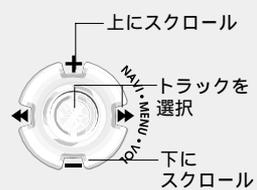
- 2 「再生/停止」ボタンを押します。



ナビゲーションはトラック(音楽・音声ファイル)を検索するために使用する機能です。

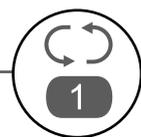


## 4) トラックを選択します。



## モード

再生中に「モード/録音」ボタンをクリックすると「リピート」や「シャッフル」等の再生モードを選択することができます。  
ユーザー設定については「メニュー」(67ページ)を参照してください。



◀ 「モード/録音」ボタンが押されたとき、再生モード表示のアイコンが変わります。

## リピート

	一つのトラックをリピート再生します。
	フォルダの中のすべてのトラックを再生して停止します。
	フォルダの中のすべてのトラックをリピート再生します。
	プレーヤの中のすべてのトラックをリピート再生します。

## シャフル

SFL	プレーヤの中のすべてのトラックをランダム再生し停止します。
	一つのトラックをリピート再生します。
	フォルダの中のすべてのトラックをランダム再生して停止します。
	フォルダの中のすべてのトラックをランダムにリピート再生します。
	プレーヤの中のすべてのトラックをランダムにリピート再生します。

## イントロ

	INTRO : 各トラックの最初の10秒を順番に再生します。 INTRO HIGHLIGHT : 各トラックの1分からの10秒間を順番に再生します。「メニュー」でこの機能を設定できます。
---	--

MEMORY/EQ



● プログラムモード：ユーザーが再生リストを作成できます。

### プログラムモードの起動

1 停止モードで



プログラムモードに▶  
なります。



▷ プログラムモードは停止モードから起動します。

▷ 再生中はリピートA-Bが起動します。 

2 「ナビ/メニュー」ボタンを押してから「ボリューム+」「ボリューム-」ボタンを使ってプログラムする曲を選択します。



▷ 「ボリューム+」「ボリューム-」ボタンを押してフォルダを選択してから、「メモリ/EQ」ボタンを押してフォルダの中のすべてのファイルを保存します。サブフォルダがある場合は機能しません。

3 「メモリ/EQ」ボタンを押してプログラムリストを保存します。



### プログラムリストからファイルを削除する

「モード/録音」ボタンを使って削除するファイルを選択してから「メモリ/EQ」ボタンを押します。プログラムリストが自動的に変更されます。

■ プログラムしたすべての局を削除するには「メモリ/EQ」ボタンを長押しします。

### プログラム再生

プログラミングしてから



「▶/■」を押してトラックを順番に再生します。

プログラムモードのアイコンが表示されます。



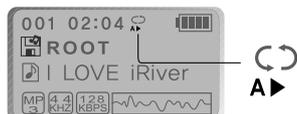
### プログラムモードの終了

「停止」を押してから



### インターバルリピート

- 選択したインターバルをリピート再生します



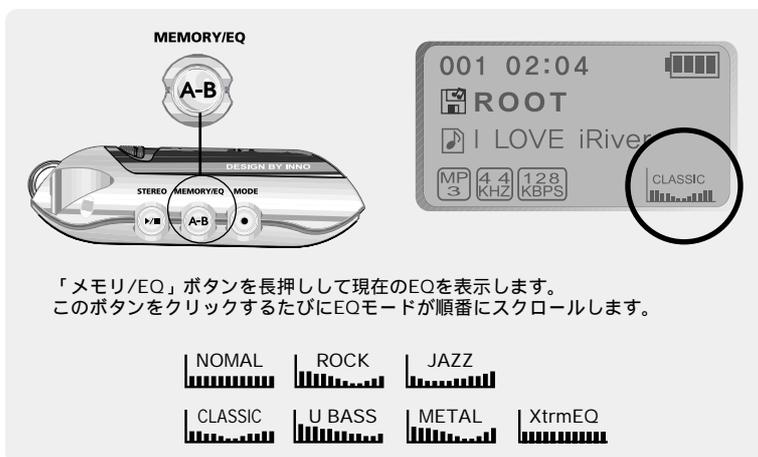
ボタンを一度押して開始<A>ポイントを選択します。



もう一度ボタンを押して終了<B>ポイントを選択します。

▲ もう一度ボタンを押してキャンセルします。

## EQモード



**注意** XtrmEQ設定については「メニュー」(68ページ)を参照してください。



異なるファームウェアバージョンではメニューが変更される場合があります。  
メニューを利用してユーザーは独自の設定が可能です。

### 構成

#### General

- beep volume
- resume
- fade in
- language
- load default

#### Display

- back light
- lcd contrast
- visualization
- scroll speed
- tag information
- time
- battery select

#### Timer

- sleep
- pwr off

#### Control

- fast skip
- scan speed
- sound balance
- eq limit
- voice recording mode
- tuner recording mode
- line-in recording mode
- line-in record volume

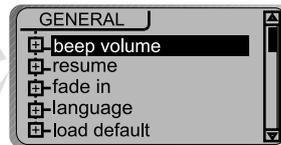
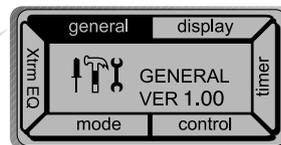
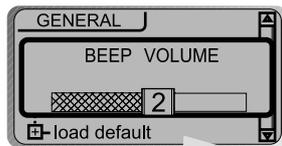
#### Mode

- repeat
- shuffle
- intro

#### Xtrem EQ

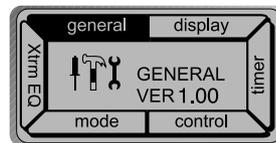
## メニュー操作

- 「ナビ/メニュー」ボタンを押し続けメニューを表示します。
- 6つのメインメニューとサブメニューで構成されています。

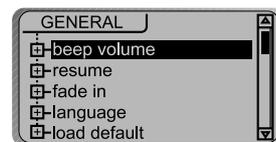
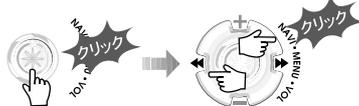


### ■メニュー間の移動

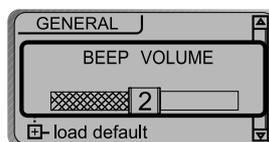
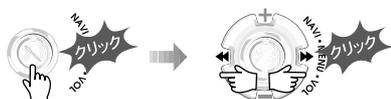
「**◀◀**」や「**▶▶**」のボタンを押してメニュー間を移動します。



### ■メインメニューからサブメニューへ



■サブメニューに入ります。



■サブメニューの終了

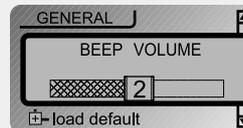


■メインメニューの終了

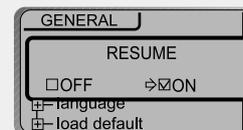


## General (一般)

- BEEP VOLUME  
ビープ音のレベルを設定します。オフにするには「0」にします。



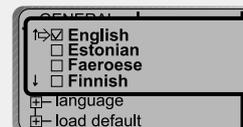
- RESUME  
オンにしておくとも「停止」や「電源オフ」の後でプレーヤは停止した場所から再生します。



- FADE IN  
オンにしておくとも再生開始時、ボリュームが徐々に大きくなり突然の大音量を防止します。

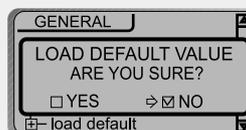


- LANGUAGE (39言語をサポート)  
MP3ファイルの曲名とID3タグ情報は作成に使用したPCのOSバージョンに依存します。(たとえば、MP3ファイルをWindowsの日本語バージョンで作成するとき、曲名を正しく表示するためには言語の設定をJapaneseにしなければなりません)



■ load default

メニュー設定を出荷時の設定に初期化します。  
 ボタン操作の順序は以下になります。  
 「ナビ/メニュー」をクリック（設定初期化選択）  
 「|◀◀」（[YES]を選択） 「ナビ/メニュー」  
 をクリック（[YES]を選択：初期化）



表示

■ back light

バックライトが点灯している時間を調整できます。  
 秒：バックライトが0から30秒間点灯しています。  
 分：バックライトが0から30分間点灯しています。  
 「ナビ/メニュー」ボタンを押して秒/分を設定します。



■ LCD contrast

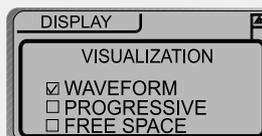
LCDコントラストを調整します。  
 「|◀◀」や「▶▶|」のボタンを使ってコントラストを調整できます。



■ visualization

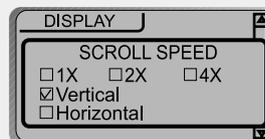
再生モードでオーディオ信号、トラックの経過時間、メモリの空き容量を選択できます。

- WAVEFORM (波形) ▶
- PROGRESSIVE (進行) ▶
- FREE SPACE (空き容量) ▶



### ■ scroll speed

タグのスクロール速度を 1倍/2倍/4倍/垂直/水平に調整できます。  
Vertical (垂直): 上下にスクロールします。  
Horizontal (水平): 左から右へスクロールします。



### ■ tag information

ON: ID3タグ情報でトラックを表示します。  
OFF: ファイル名でトラックを表示します。



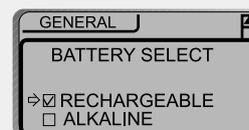
### ■ play time info

NORMAL (ノーマル): 経過時間を表示します。  
REMAIN (残り): 残り時間を表示します。  
注意: トラックフォーマットがVBR (可変ビットレート) のとき時間が正確に表示されないことがあります。



### ■ battery select

現在使用中の電池を選択します。  
電池残量表示アイコンの残量レベルをより正確に表示できるようになります。



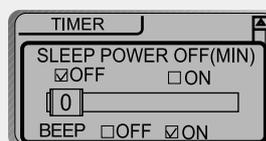
## TIMER (自動電源オフ設定)

## ■ sleep power off (min)

設定時間後に自動的に電源をオフにします。  
(時間範囲は0から180分まで1分ごとに設定できます)

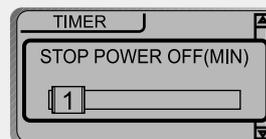
「|◀◀」や「▶▶」のボタンを使って時間を調整します。

「ナビ/メニュー」ボタンを押して警告音ON/OFFを設定します。  
電源がオフになるとsleep設定はゼロに戻ります。



## ■ stop power off (min)

停止モードで自動的に電源をオフにします。時間範囲は0から60分まで1分ごとに設定できます)  
「|◀◀」や「▶▶」のボタンを使って時間を調整します。



## Control (制御)

## ■ ff/rw skip

OFF : ファストスキップされません。  
10 : 一度に10トラックスキップします。  
DIRECTORY : 前または次のフォルダにスキップします。  
これにより「|◀◀」や「▶▶」のレバーのクリックと長押しの方法が決定します。  
(39ページ参照)



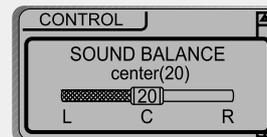
### ■ ff/rw scan speed

FF (速送り/RW (速戻し) 速度は、1倍/2倍/4倍/6倍の範囲に設定できます。



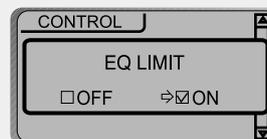
### ■ sound balance

お好みに応じてサウンドのバランスを右や左にしたり中央にしたりしてください。サウンドバランスバーをL (左、0) に寄せるとサウンドはイヤフォンの左から出力します。サウンドバランスバーをR (右、40) に寄せるとサウンドは右のイヤフォンから出力します。デフォルト設定は20で、サウンドはイヤフォンの両方から同じレベルで出力します。



### ■ eq limit

ON : イコライザ周波数の制御を制限し音声の歪を防止します。  
OFF : オリジナルサウンドをお楽しみいただけますが、サウンドに歪が生じることがあります。



### ■ voice recording mode

音声を録音するときの音声品質を調整できます。  
サンプリング周波数 : 11.025KHz ~ 44.1KHz  
ビットレート : 8Kbps ~ 160Kbps

AGC ON : 音声録音のとき、録音レベルが自動的に制御され、遠方の音がノーマルに録音されます。

AGC OFF : AGC制御を起動しません。



### ■ tuner recording mode

FMチューナーから録音するとき録音品質を調整できます。  
 サンプリング周波数：11.025KHz～44.1KHz  
 ビットレート：8Kbps～320Kbps



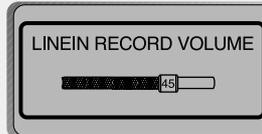
### ■ line-in recording mode

外部機器から録音するとき録音品質を調整できます。  
 サンプリング周波数：11.025KHz～44.1KHz  
 ビットレート：8Kbps～320Kbps



### ■ line-in recording volume

外部機器から録音するときの録音レベルを調整できます。  
 (0から60まで設定できます)



### ■ 録音モードの設定



1. 設定する録音モードを選択する。
2. 「ナビ/メニュー」ボタンを繰り返し押し設定する項目 (AGCオン/AGCオフ、モノラル/ステレオ、サンプリングレート、ビットレート) を選択します。
3. 「◀」や「▶」のボタンを使って AGCオン/AGCオフ、モノラル/ステレオ、サンプリングレート、ビットレートの設定や選択をします。
4. 「ボリューム -」もしくは「再生/停止」ボタンを押して終了します。

**注意** 電池表示が点滅して電圧が低い場合は録音できません。

## MODE (再生モード)

## ■ repeat/shuffle

リピートとシャッフルのモードの詳細設定ができます。

選択方法

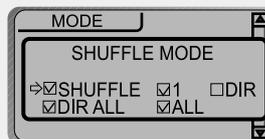
を押したあと



ボタンで選択し



ボタンで終了します



「モード/録音」ボタンを押すときは選択した再生モードだけが使用できます。  
(詳細は52～53ページを参照してください)

## ■ intro

ON (イントロ): 各トラックの最初の10秒を順番に再生します。

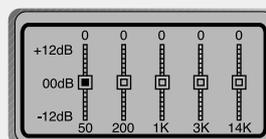
HIGHLIGHT ON (イントロハイライト): 各トラックの1分からの10秒を順番に再生します。



## XtrmEQ

## ■ XtrmEQ

サウンドをお好みに調整できます。  
5つの周波数帯域ステップがあり、  
-12dBから+12dBまで3dBごとに設定します。



## ■ XtrmEQの設定方法

1. 「|◀◀」や「▶▶」ボタンを使って設定する周波数ステップを選択します。



2. 「ボリューム+」「ボリューム-」を使ってレベルを調整します。



3. XtrmEQ設定を終了するには



## 電池の装着

1 電池カバーを開きます。

2 電池を挿入します。  
電池の+と-が電池装着部内の表示  
と合うように注意してください。

3 電池カバーを閉じます。



## 注意

- ・ 腐食を避けるためプレーヤを長時間使用しないときは電池を取り出してください。
- ・ 腐食による損傷を防止するため消耗した電池はすぐに取り出してください。
- ・ 腐食が発生したら電池装着部をすぐに乾いた布で拭き新しい電池を装着してください。

以下の事項を確認した後も問題解決されない場合は、サポートセンターにお問い合わせください。

電源が入らない	電池が正しく装着されたか確認してください。 プレーヤの「ホールド」ボタンが解除されているかを確認してください。 新しい電池を装着してください。
イヤフォンから音が出ない	「ボリューム」が「0」に設定されているか確認してください。イヤフォン/リモコンのプラグをしっかり接続してください。 プラグが汚れているか確認してください。プラグを乾いた柔らかい布で拭いてください。 MP3やWMAファイルが壊れていると静電雑音を生じたりサウンドが途切れることがあります。PCでファイルを聞いてみて壊れているか確認してください。
LCDウィンドウの文字が文字化けしている	メニュー「display」「language」を確認して正しい言語が選択されているかを確認してください。 (61ページを参照してください)
FMがクリアに受信されない	プレーヤとイヤフォンの位置を調整してください。プレーヤの近くの電気機器の電源をオフにしてください。 イヤフォンのコードにはアンテナ機能があります。良好に受信するには接続しなければなりません。
MP3ファイルのダウンロードができない	電池の残量を確認してください。 PCとプレーヤの接続を確認しケーブルに問題がないことを確認してください。 Managerプログラムが確実に動作していることを確認してください。 プレーヤのメモリ残量が十分であるか確認してください。

### LCDウィンドウ

プレーヤを落としたり強い力で押さえたりしないでください。プレーヤは歩いたり走ったりしても動作するように設計されていますが、プレーヤを落としたり強く押さえたりすると壊れることがあります。

プレーヤを濡らさないでください。プレーヤが水に濡れるとプレーヤ内部の部品が壊れることがあります。プレーヤが濡れたときはできるだけ早く外部を柔らかい布で拭いてください。

プレーヤを長期間使用しないときは電池を取り出してください。プレーヤに長時間電池を入れておくと機器の腐食や損傷が生じることがあります。

### ヘッドフォンとイヤフォン

#### 路上での安全

自動車、自転車その他の乗物を運転する時、あるいは歩行中にヘッドホンやイヤホンを使用して音楽を聴くことはおやめください。交通事故や重大な事故の原因となり大変危険で、地域によっては違法です。

#### 聴覚障害の予防

ヘッドフォン/イヤフォンの大音量での使用を避けてください。聴覚専門家は大音量での長時間演奏継続は聴覚障害の原因となることを指摘しています。耳鳴りがするときはボリュームを下げるか使用を中止してください。

#### マナーを守りましょう

公共の場所でのご使用の際、周囲の人に迷惑がかからないよう、音量には十分注意してください。

1 イヤフォン/  
イヤフォン用スポンジ



2 USBケーブル



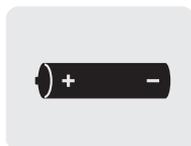
3 インストール  
CD-ROM



4 取扱説明書/保証書



5 電池 (単三形アル  
カリ乾電池)



6 携帯用ネックス  
トラップ



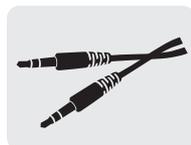
7 キャリーケース



8 アームバンド  
(IFP-395のみ付属)



9 オーディオケーブル



\* 付属品は予告なしに変更することがあり、写真とは異なる場合があります。

■音楽トラックの複製を許可なく配布することは国際著作権法に違反します。

内蔵メモリ	128MB	256MB	512MB
モデル名	iFP-380T	iFP-390T	iFP-395T
チューナー	あり	あり	あり
MP3ダイレクトエンコーディング	あり	あり	あり

カテゴリ	項目	仕様		
FM チューナー	FM周波数帯	76 MHz~108 MHz		
	最大ヘッドフォン出力	(L) 12mW+ (R) 12mW (16Ω)		
	S/N比	50dB		
	アンテナ	ヘッドフォン/イヤフォン コードアンテナ		
	寸法	91×35×26.7 mm		
重量		約35g (電池なし)		
		約55g (電池あり)		
電池		単三形アルカリ電池1本		
	周波数範囲□	20 Hz~20 KHz		
オーディオ	最大ヘッドフォン出力	(L) 12mW+ (R) 12mW (16Ω)		
	S/N比	90 dB (MP3)		
ファイル サポート	ファイル形式	MPEG1/2/2.5レイヤ3、WMA、ASF		
	ビットレート	8 Kbps~320 Kbps		
	タグ情報	ID3 V1、ID3 V2 2.0、ID3 V2 3.0、ID 3 V2 4.0		
MP3エンコーディング		MPEG1/2/2.5レイヤ3		
LCD		フルグラフィック4ラインバックライト		
言語		39言語		
音声録音		約36 : 00時間 (8kbps、128 MB)	約72 : 00時間 (8kbps、256 MB)	約144 : 00時間 (8kbps、512 MB)
	最長再生時間	約24時間 (128kbps、MP3再生時、ボリューム20、EQノーマル)		
	インターフェース	USB1.1		
MP3動作温度	摂氏-5度~40度			

### PC

対応OS: **Windows 98SE / ME / 2000 / XP**

CPU: **Pentium 133MHz 以上**

メモリ: **10MB 以上の空き容量**

ドライブ: **CD-ROMドライブ 必須**

インターフェース: **USB インターフェース (標準装備に限ります)**

動作環境を満たすパソコンの中でも一部機種の設定、構成により正常に動作しない場合があります。

#### <動作環境に関するご注意>

Windows 95/3.1、Windows 98、Windows NTでは動作致しません。

Windows 2000は、Windows 2000 Professionalのみ保証対象となります。

以下の条件では動作保証致しません。

- ・ Windows OSをアップグレードしたパソコン
- ・ USBハブや拡張USBボードに接続した状態での使用、自作機および改造を加えたパソコン。

### Mac

- Mac OS 9.2.2以上
- Mac OS X 10.1.4以上
- CarbonLib 1.6以上

\* CarbonLibの更新方法:

OS X: アップルメニュー システム環境設定 システム ソフトウェアアップデート  
 OS 9: アップルメニュー コントロールパネル ソフトウェアアップデート

## 1. 保証書の記入事項

本製品のパッケージには、保証書が同梱されております。お買い上げの際は必ず販売店より[ 購入日 ]と[ 販売店印 ]欄などの記入をお受けください。

保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。また、保証書には保証規定が記載されていますのでよくお読みください。

## 2. 修理をご依頼の前に

本取扱説明書のトラブルシューティング、ホームページのFAQをよくお読みいただき、それでも解決しない場合にはアイリバージャパン サポートセンターまでご相談ください。

アイリバージャパン サポートセンター  
0120-266-551 E-mail: [info@iriver.co.jp](mailto:info@iriver.co.jp)

受付時間：月曜～金曜 10:00～12:00、13:00～17:00(土、日、祝祭日を除く)

ホームページアドレス <http://www.iRiver.co.jp>

〒108-0014 東京都港区芝5-31-16 YCCビル 7F

誠に恐れ入りますが、年末年始などのサポートセンター休業日にはお電話をお受けできない場合もございますのであらかじめご了承ください。また、サポートセンターの電話が通話中の場合、誠に恐れ入りますがしばらくたってからおかけ直しいただけますようお願い申し上げます。

## ご注意

本製品で記録したものを私的な目的以外で、著作権者およびほかの権利者の承諾を得ずに複製、配布、配信することは著作権法および国際条約の規定により禁止されています。本製品でのご使用により生じたその他の機器やソフトの損害に対し、当社では一切の責任を負えませんのであらかじめご了承ください。本製品およびパソコンの不具合により音楽データが破損、または消去された場合のデータ内容の補償はご容赦ください。イヤホン使用時には、周囲の音が聞こえにくくなりますので、自転車や自動車などの乗り物を運転するときや、道路を横断するときなどは絶対にお使いにならないでください。また、音量を上げすぎで、周囲の迷惑にならないようご注意ください。本製品に関するお問い合わせ、サポート、およびカタログ掲載内容については国内限定とさせていただきます。記載の外観、および仕様は、改善等のため予告なく変更される場合があります。

## 商標について

iRiverは、大韓民国およびその他の国における iRiver Limited の登録商標であり、ライセンスに基づき使用されます。Microsoft Windows Media および Windowsロゴは、米国およびその他の国における Microsoft Corporation の商標または登録商標です。その他記載のシステム名、製品名および会社名は各開発メーカーの商標または登録商標です。



# Memo

A large rectangular box with rounded corners, containing 15 horizontal lines for writing.



# Memo

A large rectangular box with rounded corners, containing 15 horizontal lines for writing.

**iRiver**  
**iFP-300 Series**

**アイリバージャパン株式会社**  
<http://www.iRiver.co.jp>

本書の内容を無断で複写、転載禁止します。  
当社では常に製品の改善を行っており、お客様のお買上げ時期によっては同一製品の中にも多少差がある場合がございますがご了承ください。  
また取扱説明書の記載の誤りなどについての補償はご容赦ください。  
本書内容については、将来予告なしに変更することがあります。

( 2003.9 )